

## 平成24年度町立辰野病院改革プラン点検報告について

町立辰野病院改革プランは、平成21年3月19日に策定し、公立病院としての役割をすすめながら、当初平成25年度黒字化を目指してまいりました。

平成22年2月に新病院建設が上伊那地域医療再生事業の認可を受け、平成22年度実施設計、23・24年度病院建設、24年度秋口新病院開院と具体的に計画が決定し、事業を進めてきてきました。平成22年3月末整形外科の医師が退職し、常勤医師が6名になりましたが、平成24年1月整形外科1名が常勤体制となり、7名の常勤体制、25年1月からは、総合診療担当1名が常勤採用となり8名体制となりました。常勤医師数により、経常収支にも影響が大きく出ていましたが、23年度、24年度と黒字決算となりました。

病院移転新築決定とともに、公立病院改革プランガイドライン（19.12.24 総務省自治財政局長通知）にそって町立辰野総合病院改革プランを、平成23年3月18日に第1次の全面改定を実施しました。減価償却の増などにより、移転後の黒字化の目標を、平成30年度に変更しました。

亜急性期病床の運用については、患者の8割以上が在宅復帰しています。また、リハビリを中心とした回復機能強化については、リハビリのスタッフも増員し、日曜日を除く毎日患者へのリハビリを実施し、機能強化に努めています。さらに、退院後のリハビリについても、訪問看護と連携し、訪問リハビリの充実を図っていきます。

平成24年度の決算については、23年度に引き続き、10,849,174円の黒字決算をする事が出来ました。公立病院改革ガイドラインでは、経営の効率化に係る部分については3年程度とされており、ガイドラインの一つの目標を達成する事ができましたが、新病院建設後の経営安定に向け更なる努力を致してまいります。又、23年度決算承認において、累積赤字827,725,853円を資本金にて解消しました。

平成24年10月1日、病院名も町立辰野病院と改称し、新たな地で、新病院の診療を開始はじめました。今後も、改革プランに沿って、病院の経営改善に努めてまいります。

平成25年9月20日

町立辰野病院